

映画『瞽女 GOZE』
監督 瀧澤正治 KIDS

越後上越版 GOZE ロケ地 map & 見どころ

ごぜ goze
瞽女ミュージアム高田 ①
NPO 高田瞽女の文化を保存・発信する会
法人 電話:025-522-3400 (事務局 小川)



②

頸城の名家 白田邸



⇐ ↑ 美しい親方に成長したハルの唄に村人たちの喜びと哀しみが響く。頸城区森本の名家「白田邸」にて、ハル役の吉本美憂さんは、迫力ある瞽女唄と三味線を披露した。



題字は上越市の岡田凌雲さん

⑨

郷津・虫生岩戸



↑ 雨天でも険しい峠道を、雨合羽で歩いたそうです。厚手和紙に柿渋と桐油を塗った油紙の桐油合羽ですが、今日では、容易に入手できません。

①

ごぜミュージアム



ごぜ goze
↑ ミュージアムで見習い『瞽女』と一緒に休憩。

越後の瞽女

今作のモデルになった三条出身の小林ハルさん(M33～H17)は、長岡瞽女として厳しい修業を積んで親方になりました。晩年は胎内市の「やすらぎの家」に生まれて、高田瞽女の杉本シズ、難波コトミさんとも交流されました。

新潟県上越地方にも、江戸時代からの歴史が残る「高田瞽女」がいて、数々の記録が多く残されています。本作品のロケや関係資料の調達、エキストラなどで協力しました。



↑ 瞽女宿の戸口前で門付け



③

牧区の大杉



④

上越鍼灸治療院



↑ 瞽女の旅で傷を負ったハルを医師が診察するシーンは、旧洋茸工場のレトロな建物で撮影。現在は鍼灸院として使われています。
⇐ 佐々木医師役 本田博太郎さん



映画製作のクラウドファンディング
上越市牧区棚田での PR 版撮影には、
上越地域の皆さんがボランティアで
協力しました。 ↓ 最後列は瀧澤監督



③

つばの深い笠をかぶり、白杖と地下足袋、
手甲脚絆の旅姿で荷を背負い、手引きの
後を数人が連なって歩きました。 →

© N. OGAWA



↑ 印象的な初夏の旅シーンの撮影は牧から峠越えて浦川原有島に至る県道です。雲海と棚田のスポットは人気ですが、盲目の瞽女さんたちは、山道のうねりと峠の風の変化を体で記憶していました。吹雪にも道に迷うことはなかったそうです。



⑤

妙高市姫川原の中宿



↑ 吹雪の道中には雪煙マシーンが登場しました！
⇐ 妙高市の姫川原中宿のはさ木道